

地方都市の小学校の LGBT 校内研修会における実践・調査研究

Practice and research at LGBT school workshops in elementary schools in local cities

中野 修

Osamu Nakano

立命館大学大学院 人間科学研究科 博士後期課程

Ritsumeikan University graduate school

Key words: LGBT, local city, elementary school

目的と方法

近年、LGBTにかかわる教員や生徒に対する教育がおこなわれている。LGBTとは、L (Lesbian: レズビアン 女性同性愛者)、G (Gay: ゲイ 男性同性愛者)、B (Bisexual: バイセクシュアル 両性愛者)、T (Transgender: トランスジェンダー 性的違和・性同一性障がいなど)の略であり、性的少数者を表す言葉である。LGBTに関わる施策としては、例えば、文部科学省は都道府県教委へ「性同一性障害の児童・生徒に対する教育相談の徹底と本人の心情に配慮した対応を」と通知した。日高(2013)の研究では、「LGBTについて授業で取り扱う必要がある」に必要と回答した教員が60%を超え、現場からのニーズもあることがうかがえる。

伊藤(2014)はLGBTの教育に対して「教員の基礎的知識及び認識が重要になるのではないだろうか。」と考察しており、そのことから、子どもだけではなく、教員向けの研修が大切であると思われる。また、野村(2017)は、レズビアンの方のインタビューから、「ここ数年で、日本でもLGBTという言葉が一気に広がり定着した。しかし、LGBTに対する差別や偏見は社会に根強い。とくに地方では、状況はさらに厳しい。」と考察している。そのため、教育現場においても、地方ではLGBTに特化した教員向けの研修の取り組みはあまり行われていないことが推察された。筆者はLGBTの研修に関する文献を概観したが、地方における教員に向けた研修について、考察された研究は見当たらなかった。そこで、筆者はA県B小学校にて、教員研修会のなかでLGBTについての研修を行い、LGBTの説明のあと、事前にとらせていただいたアンケート結果、教育現場でのLGBTをめぐる問題について話をした。そのなかから得られたアンケートの結果、教員の知識、意識についてこれらの実践を通して検討することとする。

結果

アンケート回答件数は23件で、有効回答21件、有効回答率91%であった。

B小学校の教員に、LGBTに関する差別的な言動を見聞きしたことがあるかについて自由記述を求めたところ、「なし」が2名、空欄が14名、記述が5名であった。

教員の相談したい相手としては、養護教諭、教員、スクールカウンセラー、家族、医師、その他の順であった。

考察

自由記述では、「Tと思われる子どもと出会った」「見落としていたのだろうか」という記述があり、LGBTの子どもたちと実際に出会っている可能性があったと推察される。また、「あなたの担任のクラスにLGBTの児童がいたら、あなたはどのように感じますか」という項目には、「理解したい」「寄り添いたい」等がみられた反面、「大変なことになった」という項目を選ぶ教員もいた。そのような時の相談相手としては、教員同士が多く、教員同士が話しやすいのは、ピア(仲間)な存在であることが推察された。そのため、教員同士が、互いが相談しやすい信頼関係のある環境というのも重要と思われた。筆者は教員同士の信頼関係の構築のため、困難に陥ったときに気軽に相談できる環境をつくるためには、ピアサポートが有効ではないかと考えた。教員同士のピアサポートに関する研究は久奥(2002)の研究があり、「互いに協力し合い信頼し合える人間関係」、「生徒へのよりよい支援が可能になるために、学校の中に『本音で話し、支え合い、学び合う』雰囲気をつくること」の重要性が述べられている。LGBTの生徒に関する共通理解を深めるという点においても、教員同士が助け合う環境づくりや、信頼関係づくりが必要と考えられる。校内研修会では、ピアサポートトレーナーや、スクールカウンセラーがピアサポートの技術を伝えるという点で、学校から活用してもらえる余地があるのかもしれない。

文献

- 久奥恵子(2002) 教員間のピア・サポート(仲間支援)を目指した教員研修の試み—スクールカウンセラーと連携して— 岡山県総合教育センター
平成14年度長期研究員研究成果
研究費補助金エイズ対策政策研究事業(研究代表者:日高康晴).
http://www.health-issue.jp/teachers_lgbt_survey.pdf
- 伊藤清香(2014)「ふつう」とは何か—セクシュアル・マイノリティ差別と学校教育に関する考察— 早稲田社会科学総合研究 別冊「2014年度 学生論文集」
- 野村昌二(2017) AERA.dot わが子がLGBTだと知ったらどうするか 地方で苦しむ性的マイノリティーの子どもたち
<https://dot.asahi.com/aera/2017060500064.html?page=1>